

2021年(令和3年)

第11号

(7月15日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会
 発行責任者：渉外部長 田中規之
 編集委員長：渉外広報 植田恭司
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

第10回 ありがとうコンクール ～1日100回感謝を込めて～

毎年恒例のありがとうコンクールの募集が始まりました。(主催：「ありがとう」1日100回運動推進委員会)

「ありがとう」1日100回運動の一環として始まったこの取り組みも今回で10回目となる記念大会になります。

応募内容は、「ありがとう」の感動を表現したもので、標語、川柳、詩など何でも可。

応募は1人1件とし、応募用紙に記入の上、教会1階東玄関に設置してある応募箱に投函するか、下記のメールアドレスまで送付して下さい。

送り先 melci@m4.kcn.ne.jp

応募期間は、8月1日(日)～10月10日(日)

推進委員会において選考され、優秀作品は教会に掲示するとともに、記念品が贈呈されます。

また作品を教会のホームページ(ニコニコサンガ：<https://rkk-kyoto.jp/>)や平安だよりに掲載する予定です。

第9回のコンクールでは、32件の応募があり、委員会による選考の結果、最優秀作品1点、優秀作品2点が選ばれました。

最優秀作品

「言われると 嬉しくなるの ありがとう」

優秀作品

「ありがとう と言った 笑顔に ありがとう」

優秀作品

「ありがとう 見えてなかったことが みえてくる」

推進委員会は「10回目の節目となるだけに、より多くの作品応募を期待したいです」と述べています。

教会玄関の蓮の花 ～蓮の徳を体得できるように～



教会玄関の蓮が綺麗な花を咲かせました。このコロナ禍でも今年も変わらずに咲いてくれたことに感謝です。

蓮には「汚泥不染(おでいふぜん)」、「蓮にあだ花なし」の徳があると言われます。

「汚泥不染」とは、蓮は泥の中から立ち上がってきたことを感じさせないほど、美しく咲いている様子から、どんな悩み・苦しみ・大変なことの中から立ち上がってきても、泥を突き抜けて花を咲かせた人は、美しいもの(悟り)を手に入れる、ということです。

「蓮にあだ花なし」の「あだ花」とは、咲きそこなったり、綺麗に開かなかった花のことです。蓮の花には「あだ花」がないそうです。つまり、人にもあだ花はなく、皆、花を咲かせられるということです。

泥水が泥で濃ければ濃いほど、泥を味わったら味わっただけ、大きな花を咲かせることができる。そんな境地を体得できるよう精進したいと思います。

青年部ドロップカフェ開催 ～誰もが気軽に参加できます～

6月19日、19時30分から5月の青年の日に参加した青年部員を中心に「ドロップカフェ」がZoomによるオンラインにて開催され、10名ほどが参加しました。今年の青年の日は初めてオンラインにより開催され、それから1ヶ月が経過し、各自がどのように

行動してきたかを報告し合いました。その後、2グループに分かれ意見交換を行ったあとは、元のグループに戻り、それぞれの意見交換した内容を報告し合い、次回の開催予定発表が行われ終わりました。今後、定期開催される予定です。

令和3年、私たちは「どこでも道場 祈り祈られ 笑顔と涙によりそおう」を実践して参ります。

京都教会のホームページが出来ました。<https://rkk-kyoto.jp/>